

へんなじじい

井口 昭久

外来診療での患者と私の会話の抜粋である。
女・50歳…「私、夕方4時に寝るんです。朝3時に起きています。お日様が嫌いなんです。今朝は6時半に病院へきました」

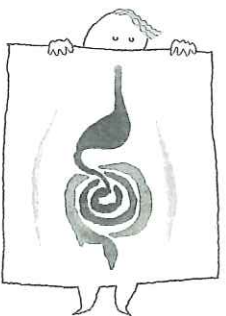
男・68歳…「私はなんでも一番が好きでね。診察も一番にしてほしいですわ。だけど今日も一番ではなかった。朝5時半に起きて、ここへ7時には来ていたけど二番だった」
男・60代?…「おやつはダメだけど、つまみはいいんだよね」「ダメだよ」「酒はダメだけど焼酎はいいんですね」「どっちも駄目だよ」「先生はどっちを飲んでるの?」「両方だよ」

女・78歳…「最近、糖尿病が悪くなっているよ。何かあったの?」「息子がいなくなつてね」「いつから?」「20年前から」「先生! 糖尿病ってどういう病気? 目が悪くなるんでしょう」「そうだよ」「フーン。初めて聞いた。何回聞いても忘れるわな」

女・50代?…「ご飯どのくらい食べてるの?」「私、ご飯食べないの」「そう?」「私、パンが好きでね。パン3枚食べるの」「おかずはどうしてるの?」「面倒なのでおかずは作らないの。前はバター塗っていたけど、この頃パンだけ」「あなた一人で住んでるの?」「夫と二人で住んでるの」「夫もパンだけ

食べてるの?」「お父ちゃんは、ご飯食べている」

男・66歳…「昼間から酒飲んでるの?」「ううん。土曜と日曜以外は昼間は酒を飲まないようにしている」「最近、曜日がわからなくなったって言うってたよね」「そうだね」
男・78歳…「先生、サンシャ、サンカタって知ってますか?」「???」「医者、役者、芸者を三者ついでうんです。三方は土方、馬方、船方です。人様のお金で食っていくタイプを三者って言って、自分でお金を稼がなければならぬタイプを三方ってゆうんです」
女・68歳…「オバーさんよりも一日でも長生きしたい」「姑さんはいくつ?」「94歳。甘いものが好きでね。食べても食べても糖尿にならん」「オバーさんがいるのでどこへも行けない」「犬を飼っているようなもんだね」「おとといモリコパークへ行った。昨日は道の駅へ行った」「結構いろんなところへ行ってるとるじゃない」



47.

女・80歳…「もう診察終わったから出て行つていいよ」「でも今日はお客さんが少ないから、もうちよつとここにいるわ」

男・30代…「壊れたら治らない?」「治りますよ。治らなくても壊れた所を換えればいいんだから」。これはクーラーを取り換えに来た電機屋の息子との会話である。

男・4歳…「オーイ!へんなじじい!」久しぶりにきた孫が2階のベランダから、庭にいる私に向かって、手を振りながら言った。
鯉のぼりが風に乗って泳いでいた。

(愛知淑徳大学教授・名古屋大学名誉教授)